

大分県医師会臨床検査精度 管理調査の注意事項

大分県医師会精度管理解析委員 伊賀上 郁

令和元年6月8日（土）

精度管理システム

1. 平成24年度から、日本臨床衛生検査技師会
精度管理事業・データ標準化事業システム
(JAMTQC) を使用。今年度が8年目となる。
2. この精度管理システムは、日本臨床衛生検査技師会と都道府県の精度管理調査を兼ねている。

JAMTQCTトップメニュー

お知らせ

【2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 回答開始】

合計 25 件

文書	掲載日	内容
	令和元年6月4日 <small>[NEW]</small>	『2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 回答画面について』 『試料到着確認』と『参加項目設定』を行わないと、『回答入力』で回答画面が表示されません。 JAMTQCTログイン → 『回答入力メニュー』 → 『回答入力』で回答画面が表示されます。 『参加項目設定』 → 『回答入力』の流れで進んでください。 なお、試料を使用しない検査は『試料到着確認』が不要で、『参加項目設定』のみ必要です。 2019年度日臨技臨床検査精度管理調査では、細胞検査、生理検査、病理検査の部門が試料到着確認不要です。
	令和元年6月4日 <small>[NEW]</small>	『2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 フォト説明、フォトサーベイ集の掲載』 2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 フォト説明、フォトサーベイ集手引書を掲載しました。 JAMTQCTログイン後、手引書 画面でご覧ください。 なお、手引書類は郵送いたしませんのでご注意ください。
	令和元年6月4日 <small>[NEW]</small>	『2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 試料の発送について』 本日6月4日(火)、当該調査の試料を発送しました。 各施設への到着は、明日6月5日(水)からとなります。 回答締切日は6月24日(月)午後0時です。期限内に回答ください。 ※ 回答画面閉鎖後の入力内容の変更、削除、新規入力等は一切お受けできません。
	令和元年5月29日 <small>[NEW]</small>	『2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 手引書の掲載』 2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 手引書を掲載しました。 データ分析メニュー → 2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 → 手引書 画面でご覧ください。 なお、手引書類は郵送いたしませんのでご注意ください。 また、フォト説明、フォトサーベイ集は、6月4日の公開となります。
	平成31年4月16日	『日臨技精度管理調査参加費の入金方法について』 参加費の入金は、指定口座「みずま銀行 大森支店」への振り込みとなっております。請求書に「口座名」、貴施設の「送金番号」を記載していただきますので、ご送金の際は、振込人名(貴施設名)の前必ず「送金番号」を明記の上、お手続きをお願いします。請求書は、『事務メニュー』-『精度管理事業』-『請求書』から出力してください。 『振込期限:2019年8月30日』 尚、送金番号の入力が困難な場合や参加施設名と振込名が異なる場合、複数の参加施設分をまとめて振込まれる場合等は、eyomuka@jamtor.jp 宛に【様式1:振込通知書】をご請求ください。ご記入後、上記アドレス宛にご返送をお願いします。
	平成31年4月16日	2019年度日臨技臨床検査精度管理調査 参加施設各位 平素は当会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。 さて、2019年度日臨技臨床検査精度管理調査の実施日程(予定)を掲載いたします。

業務メニュー

>> 事務メニュー

施設情報の確認、精度管理事業・データ標準化事業の参加申し込みはこちら。

>> 基本マスタ管理メニュー

測定装置、試薬、基準値など貴施設の検査項目属性をマスタとしてあらかじめ登録しておく場合はこちら。

>> 回答入力メニュー

参加事業ごとの手引書・回答入力はこちら。

>> データ分析メニュー

施設別報告書、総括統計、SDIや正解率の経年変化など貴施設の状況を単年または経年で把握するのはこちら。

文書の閲覧・発行には無償のPDFファイル閲覧ソフト、AcrobatReaderが必要です。
Adobe社のサイトから、最新のAcrobatReaderをダウンロードしてご利用ください。



日臨技精度管理調査の
情報です。

1. 施設登録について

2. 参加コース登録時の注意事項

3. 調査項目と試料配布方法について

4. 試料測定及び測定結果入力時の注意事項

5. 評価と是正措置について

1. 施設登録について

2. 参加コース登録時の注意事項

3. 調査項目と試料配布方法について

4. 試料測定及び測定結果入力時の注意事項

5. 評価と是正措置について

施設分類

施設分類
一般病院Ⅰ（特定機能病院）
一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）
一般病院Ⅲ（機能指定なし）
診療所（有床）
診療所（無床）
精神病院
療養所
衛生検査所
検診センター

施設分類

【特定機能病院】

医療施設機能の体系化の一環として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院について、厚生労働大臣が個別に承認するもの。

大学病院を中心に全国で85施設(※)があり、大分県では大分大学附属病院が承認を受けている。

(※)令和元年6月1日現在

特定機能病院の主な要件

- (1) 高度の医療の提供、開発及び評価、並びに研修を実施する能力を有すること。
- (2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し、医療を提供すること。
(紹介率50%以上、逆紹介率40%以上)
- (3) 400床以上の病床を有すること
- (4) 医師については通常の病院の2倍程度の配置が最低基準で、医師の配置基準の半数以上が15種類いずれかの専門医であること等
- (5) 集中治療室、無菌病室、医薬品情報管理室等の構造設備が必要
- (6) 医療安全管理体制の整備
 - ・医療安全管理責任者の配置
 - ・専従の医師、薬剤師及び看護師の医療安全管理部門への配置
 - ・監査委員会による外部監査
 - ・高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否を決定する部門の設置
- (7) 原則定められた16の診療科を標榜していること
- (8) 査読のある雑誌に掲載された英語論文数が年70件以上あること 等

施設分類

【地域医療支援病院】

地域の医療従事者の研修等を通じ、かかりつけ医療等を支援する機能を備えた病院で、知事が医療審議会の意見を聴いて承認を行う。

地域医療支援病院の主な要件

(1) 紹介患者に対する医療提供

他の病院等から紹介された患者に対し医療を提供し、体制が整備されていること。紹介外来制を原則とし、(1)紹介率80%以上、(2)紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上、(3)紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上、のいずれかであること。

(2) 共同利用の実施

当該病院建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を、当該病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させるための体制が整備されていること。

(3) 救急医療の提供

救急医療を提供する能力を有すること。

(4) 地域医療の従事者に対する研修の実施

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること。

(5) 病床規模

原則、省令に定める病床数(200床)以上の収容施設を有すること。

(6) 必要な施設を有すること。

地域医療支援病院一覧

施設名	2次医療圏	承認年月日
大分市医師会立アルメイダ病院	中部	平成10年12月25日
臼杵市医師会立コスモス病院	中部	平成12年7月1日
医療法人敬和会大分岡病院	中部	平成18年10月5日
独立行政法人国立病院機構別府医療センター	東部	平成18年10月5日
大分県立病院	中部	平成21年4月28日
独立行政法人国立病院機構大分医療センター	中部	平成21年10月28日
国家公務員共済組合連合会 新別府病院	東部	平成23年4月1日
宇佐高田医師会病院	北部	平成23年4月28日
大分赤十字病院	中部	平成24年7月1日
中津市立中津市民病院	北部	平成25年5月24日
大分県済生会日田病院	西部	平成25年6月10日
竹田医師会病院	豊肥	平成28年5月15日

病院と診療所の違い

【病院】

病床数が20以上で、医師・看護師等についての人員配置の基準があり、外来患者40名に対して医師1名、入院患者16名に対して医師1名が必要とされる。

【診療所(クリニック、医院)】

病床数が19床以下、または0床で、管理者たる医師1名のほかは特に人員配置の基準はなく、医師1人が診る患者数に制限はない。

※「医療法第一条の五」による

施設登録について

■
お知らせ

ログアウト
9940062: 一般社団法人 大分県医師会

■
【2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 回答開始】

業務メニュー

合計 25 件

文書	掲載日	内容
	令和元年6月4日 [NEW!]	『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 回答画面について』 『試料到着確認』と『参加項目設定』を行わないと、『回答入力』で回答画面が表示されません。 JAMTOQログイン → 『回答入力メニュー』 → 『回答入力』で回答画面が表示されます。 『参加項目設定』 → 『回答入力』の流れで進んでください。 なお、試料を使用しない検査は『試料到着確認』が不要で、『参加項目設定』のみ必要です。 2019年度日臨床臨床検査精度管理調査では、細胞検査、生理検査、病理検査の部門が試料到着確認不要です。
	令和元年6月4日 [NEW!]	『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 フォト説明、フォトサーベイ集の掲載』 2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 フォト説明、フォトサーベイ集手引書を掲載しました。 JAMTOQログイン後、手引書 画面でご覧ください。 なお、手引書類は郵送いたしませんのでご注意ください。
	令和元年6月4日 [NEW!]	『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 試料の発送について』 本日6月4日(火)、当該調査の試料を発送しました。 各施設への到着は、明日6月5日(水)からとなります。 回答締切日は6月24日(月)午後5時です。期限内に回答ください。 ※ 回答画面閉鎖後の入力内容の変更、削除、新規入力等は一切お受けできません。
	令和元年5月29日 [NEW!]	『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 手引書の掲載』 2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 手引書を掲載しました。 データ分析メニュー → 2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 → 手引書 画面でご覧ください。 なお、手引書類は郵送いたしませんのでご注意ください。 また、フォト説明、フォトサーベイ集は、6月4日の公開となります。
	平成31年4月16日	『日臨床精度管理調査参加費の入金方法について』 参加費の入金は、指定口座「みずほ銀行 大森支店」への振り込みとなっております。請求書に「口座名」、貴施設の「送金番号」を記載していますので、ご送金する際、振込人名(貴施設名の前)に必ず「送金番号」を明記の上、お手続きをお願いします。請求書は、『事務メニュー』-『精度管理事業』-『請求書』から出力してください。 『振込期限:2019年8月30日』 尚、送金番号の入力が困難な場合や参加施設名と振込名が異なる場合、複数の参加施設分をまとめて振込まれる場合等は、eyomuka@jamtor.jp 宛に【様式1: 振込通知書】をご請求ください。ご記入後、上記アドレス宛にご返送をお願いします。
	平成31年4月16日	2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 参加施設各位 平素は当会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。 さて、2019年度日臨床臨床検査精度管理調査の実施日程(予定)を掲載いたします。

>> 事務メニュー
施設情報の確認、精度管理事業・データ標準化事業の参加申し込みはこちら。

>> 基本マスタ管理メニュー
測定装置、試薬、基準値など貴施設の検査項目属性をマスタとしてあらかじめ登録しておく場合はこちら。

>> 回答入力メニュー
参加事業ごとの手引書・回答入力はこちら。

>> データ分析メニュー
施設別報告書、総括統計、SDIや正解率の経年変化など貴施設の状況を単年または経年で把握するのはこちら。

文書の閲覧・発行には無償のPDFファイル閲覧ソフト、AcrobatReaderが必要です。
Adobe社のサイトから、最新のAcrobatReaderをダウンロードしてご利用ください。

Get ADOBE® READER

Copyright(C)日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved.

施設登録について

JAMTQC 参加施設向けシステム
事務メニュー

お問い合わせ | 入力ガイド | 他メニュー選択 | ログアウト
9940062: 一般社団法人 大分県医師会

貴施設情報 | 精度管理事業

変更申請

施設No : 9940062

施設名称	一般社団法人 大分県医師会		
施設分類	健診センター	経営形態	その他(社)
病床数		業務実施状況	全て自施設で実施
住所	〒870-8563 大分県 大分市 大字駄原2892-1		
電話番号(内線番号)	097-532-9121	FAX番号	097-537-4764
パスワード	w7EQa4		

事業参加歴

参加証	事業名	参加部署	コース

Copyright(C)日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved.

施設登録について

JAMTQC 参加施設向けシステム
事務メニュー

お問い合わせ | 入力ガイド | 他メニュー選択 | ログアウト
9940062-一般社団法人 大分県医師会

施設情報 | 精度管理事業

施設情報変更申請

申請者氏名 **必須** | 申請者メールアドレス **必須**

申請コメント

施設情報

施設名1(法人格など)

施設名2 **必須**

施設名カナ **必須**

略称一行目 **必須** (14文字以内) 証書等で使用・一行で収まらない場合のみ二行目に入力

略称二行目 (14文字以内)

施設形態 **必須** | 経営主体 **必須**

業務実施状況

住所・送付先

郵便番号 **必須** |
 |

住所 **必須** | (例)大田区
 (例)大森北4-10-7
 (例)日本臨床衛生検査技師会館
 (例)日本臨床大学
 (例)細菌検査室

送付先施設名 **必須** |
送付先部署 |

連絡先

電話番号 **必須** | (例)1234
FAX番号 |

申請して閉じる | キャンセルして閉じる

1. 施設登録について

2. 参加コース登録時の注意事項

3. 調査項目と試料配布方法について

4. 試料測定及び測定結果入力時の注意事項

5. 評価と是正措置について

参加コース登録時の注意事項

JAMTQC 参加申込向けシステム
事務メニュー 参加受付入力

194401:令和元年度 大分県臨床検査精度管理調査

施設番号 9940062 一般社団法人 大分県医師会
部署名
参加証印刷名称(1行目) 一般社団法人
参加証印刷名称(2行目) 大分県医師会

【試料送付先】 クリア >> 請求先へコピー 【請求先】 クリア
〒870-8563 住所抽出 〒870-8563 住所抽出
大分県 大分県
大分市 大分市
大字駄原2892-1 大字駄原2892-1

施設名 大分県医師会 大分県医師会
部署名 保険課 保険課
電話番号 097-532-9121 097-532-9121

担当者
メールアドレス
備考

(入力例)
中央検査部
25文字以内で入力して下さい
25文字以内で入力して下さい。
施設名が短い場合は2行目のみに
施設名を入力して下さい。

143-0016
東京都
大田区
大森北4-10-7
〇〇ビル 3階
〇〇病院
検査部または会計課など
03-3768-4722
担当者氏名または担当者役職

参加	コード	コース名	料金	残数
<input checked="" type="checkbox"/>	01	臨床化学A(CRPを含む生化学項目及び尿定量検査)	18000	79
<input checked="" type="checkbox"/>	02	臨床化学B(HbA1c)	18000	46
<input checked="" type="checkbox"/>	03	免疫血清(感染症)	18000	06
<input checked="" type="checkbox"/>	04	微生物A(グラム染色・フォトサーベイ)	18000	06
<input checked="" type="checkbox"/>	05	微生物B(同定・感受性)	18000	06
<input checked="" type="checkbox"/>	06	血液A(血算)	18000	56
<input checked="" type="checkbox"/>	07	血液B(凝固)	18000	45

スクロールする

申込みして閉じる キャンセルして閉じる

Copyright(C)日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved.

参加コース登録時の注意事項

JAMTQC 参加申込向けシステム
事務メニュー 参加受付入力

194401:令和元年度 大分県臨床検査精度管理調査

申込

施設名 大字駄原2892-1
 部署名 大分県医師会
 電話番号 097-532-9121
 担当者
 メールアドレス
 備考

大分県
 大字駄原2892-1
 大分県医師会
 保険課
 097-532-9121

大森北4-10-7
 ○○ビル 3階
 ○○病院
 検査部または会計課など
 03-3768-4722
 担当者氏名または担当者役職

参加コース

参加	コース	コース名	料金	残款
<input checked="" type="checkbox"/>	01	臨床化学A(CRPを含む生化学項目及び尿定量検査)	18000	79
<input checked="" type="checkbox"/>	02	臨床化学B(HbA1c)	18000	46
<input checked="" type="checkbox"/>	03	免疫血清(感染症)	18000	36
<input checked="" type="checkbox"/>	04	微生物A(グラム染色・フォトサーベイ)	18000	56
<input checked="" type="checkbox"/>	05	微生物B(同定・感受性)	18000	83
<input checked="" type="checkbox"/>	06	血液A(血算)	18000	56
<input checked="" type="checkbox"/>	07	血液B(凝固)	18000	45
<input checked="" type="checkbox"/>	08	血液C(フォトサーベイ)	18000	42
<input checked="" type="checkbox"/>	09	病理細胞(フォトサーベイ)	18000	82
<input checked="" type="checkbox"/>	10	一般A(尿定性)	5000	60
<input checked="" type="checkbox"/>	11	一般B(フォトサーベイ)	5000	22
<input checked="" type="checkbox"/>	12	生理(フォトサーベイ)	18000	27
<input checked="" type="checkbox"/>	13	輸血A(ABO・RhD血液型)	18000	27
<input checked="" type="checkbox"/>	14	輸血B(不規則抗体・交差適合試験)	18000	30

申請 領収

申込みして閉じる キャンセルして閉じる

基本マスタの登録

■
一般社団法人 **日本臨床衛生検査技師会** 精度管理事業
データ標準化事業 トップメニュー

ログアウト
9940 062: 一般社団法人 大分県医師会

お知らせ
【2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 回答開始】

合計 25 件

文書	掲載日	内容
	令和元年6月4日 NEW!	<p>『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 回答画面について』</p> <p>『試料到着確認』と『参加項目設定』を行わないと、『回答入力』で回答画面が表示されません。 JAMTQCIにログイン → 『回答入力メニュー』 → 『試料到着確認・参加項目設定』 → 『試料到着確認』 → 『参加項目設定』 → 『回答入力』の流れで進んでください。 なお、試料を使用しない検査は『試料到着確認』が不要で、『参加項目設定』のみが必要です。 2019年度日臨床臨床検査精度管理調査では、細胞検査、生理検査、病理検査の部門が試料到着確認不要です。</p>
	令和元年6月4日 NEW!	<p>『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 フォト設問、フォトサーベイ集の掲載』</p> <p>2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 フォト設問、フォトサーベイ集手引書を掲載しました。 JAMTQCIにログイン後、手引書 画面でご覧ください。 なお、手引書類は郵送いたしませんのでご注意ください。</p>
	令和元年6月4日 NEW!	<p>『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 試料の発送について』</p> <p>本日6月4日(火)、当該調査の試料を発送しました。 各施設への到着は、明日6月5日(水)からとなります。 回答締切日は6月24日(月)午後5時です。期限内にご回答ください。</p> <p>※ 回答画面閉鎖後の入力内容の変更、削除、新規入力等は一切お受けできません。</p>
	令和元年5月29日 NEW!	<p>『2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 手引書の掲載』</p> <p>2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 手引書を掲載しました。 データ分析メニュー → 2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 → 手引書 画面でご覧ください。 なお、手引書類は郵送いたしませんのでご注意ください。</p> <p>また、フォト設問、フォトサーベイ集は、6月4日の公開となります。</p>
	平成31年4月16日	<p>『日臨床精度管理調査参加費の入金方法について』</p> <p>参加費の入金は、指定口座「みずま銀行 大森支店」への振り込みとなっております。請求書に「口座名」、貴施設の「送金番号」を記載していただきますので、ご送金する際、振込人名(貴施設名)の前必ず「送金番号」を明記の上、お手続きをお願いいたします。請求書は、『事務メニュー』-『精度管理事業』-『請求書』から出力してください。</p> <p>『振込期限:2019年8月30日』</p> <p>尚、送金番号の入力が困難な場合や参加施設名と振込名が異なる場合、複数の参加施設分をまとめて振込まれる場合等は eyomuka@jamtor.jp 宛に【様式1:振込通知書】をご請求ください。ご記入後、上記アドレス宛にご返送をお願いします。</p>
	平成31年4月16日	<p>2019年度日臨床臨床検査精度管理調査 参加施設各位</p> <p>平素は当会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。 さて、2019年度日臨床臨床検査精度管理調査の実施日程(予定)を掲載いたします。</p>

業務メニュー

▶▶ 事務メニュー

施設情報の確認、精度管理事業・データ標準化事業の参加申し込みはこちら。

▶▶ 基本マスタ管理メニュー

測定装置、試薬、基準値など貴施設の検査項目属性をマスタとしてあらかじめ登録しておく場合はこちら。

▶▶ 回答入力メニュー

参加事業ごとの手引書・回答入力はこちら。

▶▶ データ分析メニュー

施設別報告書、総括統計、SDIや正解率の経年変化など貴施設の状況を単年または経年で把握するのはこちら。

文書の閲覧・発行には無償のPDFファイル閲覧ソフト、Acrobat Readerが必要です。
 Adobe社のサイトから、最新のAcrobat Readerをダウンロードしてご利用ください。

Copyright(C)日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved.

基本マスタ:測定装置

JAMTQC 参加施設向けシステム
基本マスタ管理メニュー

お問い合わせ | 入力ガイド | メニュー選択 | ログアウト
9940062-1 一般社団法人 大分県医師会

測定装置一括設定 | 試薬一括設定 | 検量一括設定 | 基準値一括設定 | 実施状況一括設定 | 検査項目別設定 | 内部精度管理報告

項目別 | 測定装置別 | 保存 | キャンセル・再表示 >>> 測定装置マスター一覧

検索条件
日常使用
項目分類
指定しない

合計 103 件

検査項目	測定装置(日臨床)
グルコース	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
総ビリルビン	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
直接ビリルビン	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
ナトリウム	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
カリウム	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
クロール	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
カルシウム	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
無機リン	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
鉄	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
マグネシウム	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
総蛋白	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
アルブミン	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
尿酸	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
尿素窒素	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
クレアチニン	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
総コレステロール	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
中性脂肪	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)
HDL-コレステロール	BBC106 : JCA-BMシリーズ(8, 12, 1250, 1650, 2250, 6010, 6050, 6070, 8020, 8030, 8030)

測定装置
試薬
検量
基準範囲

Copyright(C)日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved.

1. 施設登録について

2. 参加コース登録時の注意事項

3. 調査項目と試料配布方法について

4. 試料測定及び測定結果入力時の注意事項

5. 評価と是正措置について

調査項目

1. 臨床化学:29項目

グルコース、総ビリルビン、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム
無機リン、鉄、総蛋白、アルブミン、CRP、尿酸、尿素窒素、クレアチニン
総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール
AST、ALT、ALP、LD、AMY、CK、GGT、ChE、HbA1c、
尿蛋白定量、尿糖定量

2. 免疫血清:2項目

HBs抗原、HCV抗体

3. 微生物:3項目

グラム染色、細菌同定検査、薬剤感受性検査

院内で実施している項目のみ回答

調査項目

4. 血液:9項目

赤血球、白血球、ヘモグロビン、MCV、血小板、プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間、フィブリノゲン量、フォトサーベイ

5. 一般:4項目

尿蛋白(定性)、尿糖(定性)、尿潜血(定性)、フォトサーベイ

6. 病理:フォトサーベイ

7. 生理:フォトサーベイ

8. 輸血:4項目

ABO血液型、RhD血液型、不規則性抗体SC・同定、交差適合試験

院内で実施している項目のみ回答

試料配布方法

6月25日(火)に大分県医師会館にて配布準備を行い、
6月26日(水)～27日(木)の2日間で全施設に配布。

【臨床化学A、免疫血清、一般】

→ ドライアイス

【臨床化学B(HbA1c)、微生物、血液、輸血】

→ 保冷剤

凍結試料が融解している場合は、直ちに
大分県医師会まで連絡してください。

1. 施設登録について

2. 参加コース登録時の注意事項

3. 調査項目と試料配布方法について

4. 試料測定及び測定結果入力時の注意事項

5. 評価と是正措置について

試料測定前後の注意事項

1. 試料測定前の準備

キャリブレーターへの溶解は必ず検定されたホールピペットを使用してください。
(マイクロピペットを使用して溶解すると誤差を生じます)

2. 試料11及び試料12の溶解方法及び取り扱いについて

- ①凍結プール血清が入っているチューブの蓋を必ず増し締めする。
- ②パラフィルム等で蓋を覆う。
- ③水道水の流水中に5～10分置いて完全に溶解する。
- ④溶解後、泡立たないように注意して10回転程度転倒混和する。
- ⑤内容が落ち着くまで10分間静置して直ちに測定する。

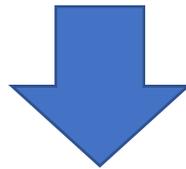
※サンプルカップに入れた試料は濃縮するため、必ず直ちに測定してください。

また、測定までに時間が空く場合はアルミ箔で遮光して冷蔵庫に保存して4時間以内に測定してください。

臨床化学の注意事項

【グルコース】

臨床化学の試料は血清を使用しているため、全血で測定するPOCT機及び血糖自己測定器(SMBG)での測定は15%程度(12~20%)高値となります。



回答した場合は評価対象外

血算 単位の注意事項

赤血球数の単位は、 $\times 10^{12}/L$ とし小数点第3位を四捨五入して小数点第2位まで記入

白血球数の単位は、 $\times 10^9/L$ とし小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入

血小板数の単位は、 $\times 10^9/L$ とし小数点第1位を四捨五入して整数を記入

(例)

赤血球数 452万/ $\mu L = 452 \times 10^4 / \mu L = 4.52 \times 10^6 / \mu L \rightarrow 4.52 \times 10^{12}/L$ と報告

白血球数 5,550/ $\mu L = 55.5 \times 10^2 / \mu L = 5.55 \times 10^3 / \mu L = 5.55 \times 10^9/L \rightarrow 5.6 \times 10^9/L$ と報告

血小板数 15,2200/ $\mu L = 15.22 \times 10^4 / \mu L = 152.2 \times 10^9 / \mu L \rightarrow 152 \times 10^9/L$ と報告



単位を間違ったらそのまま集計して評価

測定結果報告時のお願い

測定は日常検体と同じ扱い(1回測定)で得られた結果を回答してください

メーカーと参加施設の間での測定値の下調べや、関連施設内で情報交換をしてからの回答は正確な統計分析の妨げとなり、精度管理調査そのものの結果を歪め、その意義を半減させることになります。

また、他の参加施設の成績にも影響を及ぼすこととなりますので、回答は個々の施設での実測値でお願いします。

評価評点について

定量項目では目標値、SDI、絶対値を用いてABCD評価を行っている。フォトサーベイでは基本的にAまたはD評価とする。

全ての項目において、C・D評価を受けた場合は問題点をしっかりと把握して改善に努めること。

改善した内容については、是正措置報告書(例:精度保証施設認証制度の様式5等)を作成し、今後の精度管理に役立てていただきたい。

是正措置報告書

様式 5見本

施設名

様式5記入見本 外部精度管理 是正処置報告書

作成者	日本 太郎
作成日	2000年00月00日

検査室	生化学検査室
外部精度管理調査名 (実施年月日)	平成00年度日本臨床衛生検査技師会精度管理調査 2000年00月00日
項目と評価	TGがC評価であった。
原因の特定	標準物質のLot Noが新しいLot Noに変わっていたが、担当者が気づかず従来のLot Noの表示値のままキャリブレーションを実施し、試料を測定したため高値になった。 また、担当者は管理血清のチェックもできていなかった。
是正処置内容	標準物質、管理血清の受払およびLot Noを管理する記録簿を作成した。 また、標準物質、管理血清を使用する際には、毎回Lot Noを確認するようにした。 管理血清の測定値についても、測定後、必ず、管理幅(許容範囲)に入っているか否かを確認するようにした。 00月00日に、機器を操作する技師を対象に研修会を開催し、周知した。
監督者の確認	標準物質等の管理簿と研修会資料を確認した。 記録簿に関しては、しばらくの間、毎月提出するように指示した。 役職名 主任(あるいは副技師長) 確認者 00 00 2000年 00 月 00

役職名 技師長(あるいは管理主体)

承認者 00 00 2000年 00月 00日

大分県臨床検査技師会のホームページでは是正措置報告書があります。

C・D評価を受けた場合、施設でしっかりと記録を残すようにしてください。

トピックス

血清ALPの測定方法改訂について

現在、血清アルカリホスファターゼ（ALP）活性測定には、日本臨床化学会（JSCC）が提示した JSCC 常用基準法にトレーサブルな測定法が国内の99%以上の施設で採用されています。JSCC 常用基準法は、肝、骨、小腸、胎盤の各アイソザイムに対する反応性がほぼ均一となっているが、これは1980年代に JSCC 常用基準法を設定する段階で、肝硬変などで上昇する小腸型を感度良く測定するためです。

血清ALPの測定方法改訂について

しかし、血液型がB、O型でSe酵素分泌型の場合は、疾患とは無関係に食事(特に高脂肪食)の後に小腸型ALPが上昇し、健常人でも高値を示す一因となる。

一方、国際臨床化学連合(IFCC)では、臨床的意義を高めるため小腸型ALPの反応性を低く抑えて肝・骨型優位な条件で測定するIFCC基準測定操作法として提示しています。

現在、日本を除く全ての国ではIFCC基準測定操作法に準じた試薬で測定されているのが現状です。これらの事情から国際的な治験では、JSCC標準化対応試薬による測定は避けられ、IFCC基準測定操作法に準じた試薬で測定されています。

血清ALPの測定方法改訂について

このような状況から、JSCCで検討を重ねた結果、国際的に通用する測定法に改めるべきとの結論に至り、現行のALP常用基準法をIFCC基準測定操作法と同一の測定条件とした新たなJSCC常用基準法(改定JSCC常用基準法)に変更するのが適切と考えている。変更後は活性値が約 1/3 になることから、混乱を避けるため、日時を定めて全国一斉に変更できるよう計画している。

改訂による長所・短所

【長所】

- ① 健常者において基準範囲上限を超える値の出現が低下し、偽陽性が減少する。
- ② 診断・治療の指針、症例報告，研究発表等において海外との相互利用が容易となる。
- ③ 治験と一般診療で二重の測定が不要となる。

【短所】

- ① 測定値が 1/3 程度になり、基準範囲も大きく変わる。
- ② 従来の国内データとの比較には換算が必要となる。
- ③ コンピュータシステムのマスタ変更が必要となる

今後の計画

【試薬メーカーの対応】

JCCLS常用酵素のCRM-001dにALPとLDのIFCC標準操作法による認証値が記載され、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)への届け出で済むことからALP試薬の届け出が進んでいる。

【変更開始日】

現時点では2020年4月から変更を開始し、1年程度の期間を設けて変更を行う計画となっている。

【表記について】

現行のJSCC常用基準法と明確な区別が必要なため、IFCC法を表面に出した表示が妥当とされ、『ALP(IFCC)』あるいは『ALP_IFCC』のような表記が考えられている。

その他

1. 日本臨床化学会(JSCC)から10月頃にIFCCに準拠した試薬のガイドラインが出る予定になっている。
2. ALPと同様にLDの測定法についてもIFCCに変更する計画がある。

ガイドラインが策定され次第、研修会を実施しますが、動向には注視してください。

JCCLS共用基準範囲について

データ標準化事業に参加している75施設からの回答

共用基準範囲を採用している: 36施設 (48%)

うち、脂質項目では病態識別値を採用している: 3施設

※調査はJAMTQC精度管理システムを利用して行っています。

JCCLS共用基準範囲を採用して
いますか？(任意)

▼ 選択

上記の問でその他(理由)を選択し
た場合、理由をご記入ください(任
意)

ご清聴ありがとうございました